

平成 24年 2月 3日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2013年4月30日】

団体名 生長の家神の国寮

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

第三者評価検証職員研修・親睦旅行

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

国立市、府中市、国分寺市、立川市に4カ所のグループホームを設置しているため、常々、分散化に伴う職員間の意思疎通や相互協力連携の困難さ実感していたところであり、平成24年6月に完成する施設建替に向けて、施設運営のあり方と各業務を根本的に見直さなければならない必然性があった。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

本体施設建替えにより、既存の4グループホームと建替後の本園4ホームが完成し当施設全体の小規模化が実現します。小規模化に伴う分散化・孤立化の弊害を事前に除去する対策を講じ、施設運営の資質向上を目指して、平成23年度福祉サービス第三者評価結果を基に、全職員が評価内容を検証し、当施設の問題点を抽出して改善案を検討するなどの研修を行う。同時に職員の交流とリフレッシュ行事等のグループワークを通して相互連携強化を体験する。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

福祉サービスを提供する側は、常に最大の注意を払ってサービスを受ける側の立場に配慮する謙虚さが必要です。その為、日々の業務を客観的に見つめ直す視点として、第三者評価結果は、貴重な改善情報の宝庫であるとの思いで取り組むことと致しました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

勤務態勢の都合上3グループに分けて実施しました。気の抜けない児童養護現場から離れて、身も心もリフレッシュできる環境の中で、施設サービス向上の為の真剣な話し合いとわだかまりのない交流が出来ました。施設小規模化に伴いグループホームなど分散化・孤立化しがちなで接触点の少ない職員同士が、第三者評価結果の検証をテーマにして、忌憚のない意見交換できたことは、職員の資質向上と施設運営改善の基礎固めが出来たものと思います。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・(特になし)